

通明小学校150周年記念事業

「150周年の庭」

通 明 テ ラ ス

オープニングセレモニー



150から200周年へ ——

時をさがけ、
未来をつかもう

～ The power to
change myself ～

通明小学校150周年記念事業実行委員会

令和5年9月30日(土)
於 通明テラス

150から200周年へ――

時をさがけ、
未来をつかもう

～ The power to
change myself ～



～ 式 次 第 ～

1. 開式

2. あいさつ

150周年記念事業実行委員会 久保田実行委員長

通明小学校 早川校長

通明小学校同窓会 渡邊同窓会長

通明小学校児童会長 中村里咲さん

3. 通明テラス完成までの歩み

4. 表彰状贈呈

ネーミングコンテスト 久保 愛佳さん

5. 来賓紹介

6. 除幕式

7. 記念演奏・合唱

＜通明小学校金管バンド・合唱団＞

・通明小学校校歌

＜通明小学校金管バンド＞

・青と夏

・ダンスホール

＜通明小学校合唱団＞

・150周年記念歌「行こう」

8. 閉式

～ 通 明 テ ラ ス の あ ゆ み ～

この場所には、地域文化の交流拠点として長野市立南部図書館の前身にあたる通明図書館がありました。昭和53年、建物老朽化による取り壊しに伴い、通明学習園（自然観察園）として緑地整備され、のちにアヒル小屋を併設し、通明小学校入口の顔として児童・地域に親しまれてきました。

そして令和5年9月、地域に愛される交流拠点である伝統を踏襲し、花や緑に囲まれ、幅広い世代が憩い集うことが出来る『通明テラス』として新たに歩み出します。

令和3年8月

第6回実行委員会において、「150周年の庭」整備計画が承認される

令和3年10月

「150周年の庭」アイデアコンテストが実施され、106点の応募作品から高田莉音奈さんが大賞を受賞

令和4年4月

第9回実行委員会において、「150周年の庭」の基本コンセプトが承認される

150周年の庭 基本コンセプト

- ① 200年まで続く通明小と地域の集いの庭
- ② SDGsの実践、成長する庭
- ③ 災害の歴史を伝える庭

令和4年12月

第13回実行委員会において、「150周年の庭」の設計最終案が承認される

令和5年6月

事業計画が評価され、長野県地域発元気づくり支援金事業に採択される（支援金500万円交付）

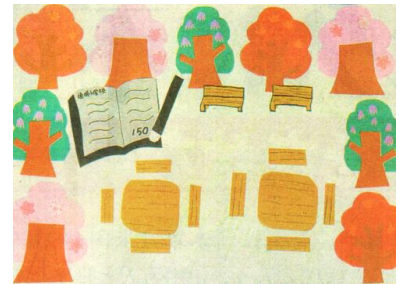
児童・保護者、御幣川区花咲かせ隊の皆さん等による「花と緑の植栽イベント」を開催し、花壇の植栽やウッドチップ敷詰め作業を行った

令和5年9月

「150周年の庭」ネーミングコンテストが実施され、71点の応募から久保愛佳さんの「通明テラス」に愛称決定

令和5年9月30日

通明テラスオープニングセレモニーが開催され、一般に開放される



通明小学校校歌

林 柳波 作詞
井上武士 作曲

一、

犀と千曲が ゆうゆうと
めぐり流れる 篠ノ井は
土地も豊かに 水清く
春はうららかな 日の光
ああ これうるわし
われらがふるさと

二、

ここに生まれて 朝なさな
心ほがらに 身をきたえ
雨に嵐に たじろがず
強く正しく のびてゆく
ああ これなつかし
われらが友どち

三、

北の信濃の 空はれて
秋は黄金の 波さわに
高き文化の 香るとこ
望みかがやく まなびやは
ああ これわれらが
通明小学校

行こう

作詞：Midori Noguchi
作曲：夏目昌典

ひこばえは 「この大きな桐の木の子孫だよ」
教えてくれたのは 入学式で手をつないだ母だった

学校前の信号が青に変わって 一斉に走り出す
背中で聞く「気を付けて帰るんだよ」 先生の大きな声
遠くから聞く ふるさとのだれかの「おかえり」の声

時をさきがけ 未来をつかもう
ふるさとから 行こう 未来へ

ひこばえが大きくなったとき 待っていてくれるだろうか
未来の足あとが 止まったり 動かなかったり
ほめてくれるだろうか
わたしの未来を笑顔で迎えてくれるだろうか

窓が黄金色に染まったのは 「ほら銀杏の葉だよ」
教えてくれたのは 1年生の先生だった

動物園から見下ろすふるさととは どこまでも輝いて
校舎の隣の機関車は 私をいつでも笑顔にして
人もまちも ふるさとの全部があたたかい

未来のわたしはきつと言うだろう
ふるさとへ行こう
あのあたたかいふるさとへ行こう
ふるさとから行こう ふるさとへ行こう 行こう